



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社 エンチャー
コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 秀男

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	30,072	3.9	1,189	223.9	1,080	358.3	888	647.5
2020年3月期第3四半期	28,936	2.8	367	46.6	235	57.4	118	67.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 957百万円 (860.1%) 2020年3月期第3四半期 99百万円 (64.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	129.92	
2020年3月期第3四半期	17.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	37,846	9,389	24.8	1,373.18
2020年3月期	35,839	8,534	23.8	1,248.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,389百万円 2020年3月期 8,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		10.00		5.00	15.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	1.3	850	209.2	700	519.4	600		87.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,857,497 株	2020年3月期	6,857,497 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	19,469 株	2020年3月期	19,341 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,838,119 株	2020年3月期3Q	6,838,240 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年4月に緊急事態宣言の発令がされ、外出自粛要請や各自治体の営業自粛要請等により個人消費は停滞し、経済活動は大幅に低下することとなりました。緊急事態宣言は5月に解除され経済活動は徐々に再開する動きを見せましたが、その後も断続的な感染症拡大や、年明け以降には指定区域に緊急事態宣言が再発令される等、感染症の収束時期の見通しは引き続き困難であることにより、先行きは一層不安定な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、外出自粛要請や自治体の営業自粛要請により「巣ごもり消費」が発生し、一部商品に対して例年以上に需要が高まる等、個人消費に大きな変化が生じております。

このような状況の中で当社グループは、春先の緊急事態宣言中に営業時間の短縮や一部店舗の休業等がありましたが、生活必需品を提供する社会的なインフラとしての役割を全うし、地域の皆様の生活を支えるべく、感染拡大防止に努めながら店舗営業を継続致しました。

また、人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No.1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根ざした品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入力とコスト削減意識の強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、業務の見直しなどによる働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、2020年5月には、3月に閉店した愛知県春日井市の「ジャンボエンチョー高蔵寺店」を業態変更し、ペットショップ「ズースクエア高蔵寺店」及びアウトドアショップ「SWEN高蔵寺店」としてリニューアルオープンし、同月、愛知県豊橋市にハードウェアショップ「ハードストック豊橋」をオープン致しました。8月には、静岡県御殿場市にアウトドアショップ「SWEN御殿場店」をオープンし、10月には、静岡県裾野市にハードウェアショップ「ハードストック裾野」をオープン致しました。以上の5店舗を開店し、2店舗を閉店した結果、第3四半期連結会計期間末現在における店舗数は55店舗（ホームセンター23店、ハードストック11店、ダイソー2店、ズースクエア2店、casa3店、SWEN13店、casa&SWEN1店）となりました。

販売につきましては、ホームセンター事業において、新型コロナウイルス感染防止に関連する商品や、外出自粛に伴い生活様式が変化した影響等によりDIY用品全般、園芸用品、収納家具等が伸長した他、夏物、冬物共に季節品の販売が好調に推移し、売上高は増収となりました。専門店事業においては、ハードウェアショップ、アウトドアショップ共に新店の寄与に加えて既存店も引き続き堅調に推移し、売上高は増収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,072百万円（前年同期比103.9%）となりました。利益につきましては、売上総利益率が向上した他、チラシや集客イベントの自粛や営業時間短縮、休業等の影響により販管費が減少し、営業利益は1,189百万円（同323.9%）、経常利益は1,080百万円（同458.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は888百万円（同747.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,007百万円増加し、37,846百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,821百万円増加し、14,797百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,702百万円、受取手形及び売掛金の増加257百万円、商品の減少92百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ186百万円増加し、23,049百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加90百万円、建設仮勘定の増加105百万円、投資有価証券の増加99百万円、長期貸付金の減少70百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,152百万円増加し、28,456百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,466百万円増加し、18,278百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,785百万円、短期借入金の減少1,267百万円、未払法人税等の増加222百万円、流動負債のその他の増加726百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ314百万円減少し、10,177百万円となりました。これは主に長期借入金の減少162百万円、退職給付に係る負債の減少101百万円、固定負債のその他の減少53百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ855百万円増加し、9,389百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加785百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、24.8%（前連結会計年度末は23.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は前年数値を上回る推移となりましたが、断続的な新型コロナウイルスの感染症拡大や、年明け以降には指定区域に緊急事態宣言が再発令される等、新型コロナウイルス感染症拡大が収束に向かう見通しは引き続き困難であり、第4四半期連結会計期間における当社グループの業績への影響も不確実性が高いものと見込まれます。そのため、通期連結業績予想につきましては、2020年9月23日「連結業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ」で公表致しました数値を据え置きとし、新たに見直しが必要と判断した場合には速やかに開示致します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,176	3,879
受取手形及び売掛金	841	1,098
商品	9,395	9,302
仕掛品	4	40
貯蔵品	28	26
その他	529	448
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,976	14,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,790	6,881
土地	12,335	12,335
建設仮勘定	98	204
その他(純額)	656	692
有形固定資産合計	19,880	20,114
無形固定資産	88	88
投資その他の資産		
投資有価証券	380	479
長期貸付金	786	716
敷金及び保証金	1,334	1,334
繰延税金資産	119	62
その他	276	256
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,893	2,846
固定資産合計	22,863	23,049
資産合計	35,839	37,846
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,306	7,092
短期借入金	9,324	8,057
未払法人税等	68	291
ポイント引当金	29	29
その他	2,081	2,807
流動負債合計	16,811	18,278
固定負債		
社債	230	207
長期借入金	8,353	8,190
退職給付に係る負債	273	171
資産除去債務	589	615
その他	1,046	992
固定負債合計	10,492	10,177
負債合計	27,304	28,456

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,241	3,026
自己株式	△17	△17
株主資本合計	8,562	9,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43	117
退職給付に係る調整累計額	△70	△75
その他の包括利益累計額合計	△27	41
純資産合計	8,534	9,389
負債純資産合計	35,839	37,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	28,936	30,072
売上原価	20,670	21,288
売上総利益	8,265	8,783
営業収入	930	859
営業総利益	9,196	9,643
販売費及び一般管理費	8,828	8,454
営業利益	367	1,189
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	15	15
その他	15	21
営業外収益合計	42	48
営業外費用		
支払利息	101	92
シンジケートローン手数料	68	59
その他	4	4
営業外費用合計	174	157
経常利益	235	1,080
特別利益		
投資有価証券売却益	—	27
違約金収入	—	120
特別利益合計	—	147
特別損失		
減損損失	30	18
その他	1	2
特別損失合計	31	20
税金等調整前四半期純利益	204	1,207
法人税、住民税及び事業税	41	288
法人税等調整額	44	30
法人税等合計	85	319
四半期純利益	118	888
親会社株主に帰属する四半期純利益	118	888

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	118	888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	74
退職給付に係る調整額	△15	△4
その他の包括利益合計	△19	69
四半期包括利益	99	957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99	957
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。